

研究成果及び活動一覧 (2014. 1. 1~12. 31)〔五十音順〕

- A：著書、論文、書評など
 B：学会での口頭発表その他の活動
 C：講演、論説など
 D：学術的調査

青山英正

- A：1 (書評)「神作研一『近世和歌史の研究』」、『日本文学』63巻1号、pp.102-103、1.10.
 2 (論文)「与謝野晶子の星の歌——『みだれ髪』と土井晩翠」、鈴木健一編『天空の文学史 太陽・月・星』、三弥井書店、pp.347-363、10.20.
 3 (学術協力)『時を超えたメッセージ——明星大学貴重書コレクション』、ケンベル『日本誌』およびシーボルト『日本』の項の学術協力、明星大学貴重書コレクション制作プロジェクト、10.26.
 4 (月報)「『忠義』の歌集——幕末の『新葉集』受容」、深津睦夫・君嶋亜紀編『新葉和歌集』(和歌文学大系44)月報、pp.4-6、明治書院、12.10.
 5 (論文)「シーボルトによる天地開闢神話の創出——『日本』と書籍コレクション」、人間文化研究機構国文学研究資料館編『シーボルト日本書籍コレクション——現存書目録と研究』、勉誠出版、12.25.
- B：1 科学研究費補助金(若手研究(B))「幕末国学者の出版と文学活動——城戸千橋(京都書林恵比須屋市右衛門)の研究」(課題番号23720120)研究代表者。
 2 (共同研究)国文学研究資料館国際連携研究プロジェクト「オランダ国ライデンを中心とするシーボルト関係日本書籍資料の調査研究」(研究代表者：鈴木淳)、共同研究員。
 3 (共同研究)総合研究大学院大学平成26年度学融合研究事業・戦略的共同研究I「観相資料の学際的研究」(研究代表者：相田満)、研究分担者。
 4 (共同研究)人間文化研究機構国文学研究資料館特定研究「日本の近世における中国漢詩文の受容——三体詩・古文真宝の出版を中心に」(研究代表者：高橋智)、研究分担者。
 5 (学会活動)日本文学協会委員。
 6 (学会活動)日本近世文学学会委員。
 7 (学会活動)日本近世文学学会編集委員(事務局)。
 8 (学会活動)日本近世文学学会広報企画委員。
 9 (学会活動)日本近世文学学会ホームページ作成委員。
 10 人間文化研究機構国文学研究資料館文献調査員。
 11 (展示解説)「小泉八雲に描かれた日野、青梅」展示解説、於明星大学図書館、1.10-24.
 12 (口頭発表)「幕末志士の和歌の成立と展開」、和歌文学会5月例会 於東京大学、5.17.

- 13 (口頭発表)「蘆庵文庫蔵『宗順日記』安永九年一月——翻刻と注釈」、近世和歌研究会、於国文学研究資料館、5.23.
 - 14 (研究活動)第8回幕末明治研究会(共同発起人:前田雅之・上原麻有子)、主催、於京都大学、6.21.
発表:1ラルフミュラー氏「鎌倉仏教の伝承は翻訳論の問題であるか。哲学的観点からの一考察」
2斎藤英喜氏(仏教大学)「折口信夫の「明治」」
 - 15 (研究活動)第9回幕末明治研究会(共同発起人:前田雅之・上原麻有子)、主催、於明星大学、12.20.
発表:1山本嘉孝氏(東京大学大学院)「中村蘭林の修正朱子学と作文論——近世中期におけるもう一つの〈古文辞〉」
2向後恵里子氏(明星大学)「英雄の古層——日露戦争における武士と兵士のイメージ」
- C: 1 (講演)「江戸時代の『あの世』」、勝五郎生まれ変わり物語探求調査団公開講演会、日野市郷土資料館、5.18.
2 (講演)「幕末日本の内戦——時局情報と文芸」、明星大学人文学部日本文化学科公開講座、於明星大学、10.11.
- D: 1 (学術調査)国文学研究資料館調査収集事業における文献調査、於鯖江市舟津神社、3.1-3.3
2 (学術調査)国文学研究資料館調査収集事業における文献調査、於浜松市賀茂真淵記念館、3.4-3.6
3 (学術調査)教育研究活動費による文献調査、於関西大学図書館・京都大学図書館、6.20-22.
4 (学術調査)国文学研究資料館調査収集事業における文献調査、於鯖江市舟津神社、8.6-8.
5 (学術調査)国文学研究資料館調査収集事業における文献調査、於名古屋市蓬左文庫、8.19-20.
6 (学術調査)石水博物館所蔵書簡調査、於津市石水博物館、8.26-28.
7 (学術調査)石水博物館所蔵書簡調査、於津市石水博物館、9.27-28.
8 (学術調査)石水博物館所蔵書簡調査、於津市石水博物館、10.30.
9 (学術調査)岩瀬文庫所蔵文献調査、於西尾市岩瀬文庫、10.31.
10 (学術調査)石水博物館所蔵書簡調査、於津市石水博物館、11.27-28.
11 (学術調査)石水博物館所蔵書簡調査、於津市石水博物館、12.24.

内海敦子

- A: 1 「代名詞 *tou* の用法: Bantik 語における情報構造表示の一例」、『明星大学研究紀要—人文学部—日本文化学科』第22号、pp 361-380、3.20.

-
- 2 'Deixis and Relative Height Terms in Bantik', *NUSA: Linguistic studies of languages in and around Indonesia*, No. 56, pp 119-138, 3. 30.
- 3 'Dialectal Differences in the Talaud Language', *Papers from Second International Conference on Asian Geolinguistics*, pp 203-212, 10. 20.
- B : 1 「通言語的視点から見たオーストロネシア諸語の情報構造」研究会 代表者、1.1～12. 31.
- 2 研究会発表：「バンティック語における pluractional verbs—動作主体の複数性と行為の複数回性—」、第6回 文法研究ワークショップ 複数性(2)、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、3. 18.
- 3 研究会発表：「バンティック語の語順とテキストのジャンル」、第四回 「通言語的視点から見たオーストロネシア諸語の情報構造」研究会、東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所、4. 19.
- 4 国際学会発表：'Dialectal Differences in the Talaud Language', The 2nd International Conference on Asian Geolinguistics, Chulalongkorn University, 5. 24.
- 5 国際学会発表：'Word Order and Genre in the Bantik Language', The 24th Meeting of the Southeast Asian Linguistics Society, Yangon University (Myanmar), 5. 30.
- 6 研究会発表：'Word Order in Languages in North Sulawesi」、インドネシア関係研究者交流ミーティング、東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所、9.12.
- 7 学会発表：「北スラウェシ州の民話の分類」、第45回日本インドネシア学会、神田外国語大学、11. 16.
- 8 国際研究会発表：'Topic-marking constructions in Bantik', The 2nd International Workshop on Information Structure of Austronesian Languages、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、2. 12.
- C : 1 公開講座：「ベトナム戦争と湾岸戦争～日本での報道と社会」、明星大学公開講座「戦争とメディア」、明星大学、10.4.
- 2 「体験教育『自立と体験2』の実践—日本文化学科」、明星大学人文学部FD、11. 20.
- D : 1 インドネシア国北スラウェシ州言語現地調査、「バンティック語、タラウド語、トンサワン語の言語調査」、7. 25～8. 5.

勝又 基

- A : 1 (論文)「近世孝子伝解題1」、「明星大学研究紀要 人文学部・日本文化学科」第22号、pp. 287-307、明星大学日野校、3. 31

- B : 1 科研費補助金(基盤(C))「孝子伝をめぐる幕府と地方——『官刻孝義録』と藩政

- 資料を比較して（課題番号 25370237）研究代表者（4.1～）
- 2 文学研究資料館研究プロジェクト「近世における蔵書形成と文芸享受」（代表 大高洋司）共同研究員（～3.31）
 - 3 （学会活動）日本近世文学会ホームページ委員（～6.30）
 - 4 （学会活動）日本近世文学会 学会誌「近世文芸」編集事務局（～6.30）
 - 5 （学会活動）日本近世文学会 委員（1.1～12.31）
 - 6 ハーバード大学エドウィン・O・ライシャワー日本研究所客員研究員（4.1～）
- C : 1 （口頭発表）“Filial Son or Filial Child: The Relationship between Filial Commendation and Age in Early Modern Japan”（New England Association for Asian Studies Academic Conference 2014, University of Connecticut, 10.4）英語による発表
- 2 （口頭発表）“Zen and Filial Piety: From Medieval to Early Modern”（2014 Association of Japanese Literary Studies Annual Conference, Western Washington University, 10.12）英語による発表
 - 3 （エッセイ）「ハーバード大留学おぼえがきー日本文学研究とは何か、外側から見つめ直す」、「レポート笠間」57、pp.47-50、笠間書院、11.20
 - 4 （エッセイ）「momotarō in USA」、明星大学人文学部日本文化学科ホームページ「ことばと文化のミニ講座」87、明星大学人文学部日本文化学科、12.18

向後恵里子

- A : 1 （学会報告）「第8回表象・メディア論学会研究発表会 トーク・セッション「明治期〈写真〉事情放談」報告：リアルとマジックのあいだ」『表象・メディア研究』第4号、3.10
- B : 2 （口頭発表）「乳と貝ー近代日本における人魚の乳房と貝殻の力学2」科研「乳房」の図像と記憶ー中国・ロシア・日本の表象比較研究第2回例会（早稲田大学）2.1
- 3 （口頭発表）「ミンスク、記憶の闘争：2013年度夏ミンスク・モスクワ出張報告」戦争のメモリースケープ研究会（亜細亜大学）2.18
 - 4 （口頭発表）「戦場のリアリティー1904年極東における塹壕のなかから」書棚770企画：塹壕文化の日（書棚770）7.27
 - 5 （口頭発表）『地域研究』「紅い戦争の記憶」合評会書評、戦争のメモリースケープ研究会（北海道大学）9.16
 - 6 （口頭発表）「英雄の古層ー日露戦争における武士と兵士のイメージ」、第9回幕末明治研究会（明星大学）12.20
 - 7 （科学研究費）研究代表者：基盤研究（C）、「日本近代における〈黒人〉図像ー人種表象の視覚文化史」（課題番号 26370182）2014-16年度
 - 8 （科学研究費）研究分担者：基盤研究（B）、「乳房」の図像と記憶ー中国・ロシア・日本の表象比較研究」（研究課題番号 25284065）2013-15年度、研究代表者：武田雅哉（北海道大学）

-
- 9 (科学研究費) 研究分担者: 基盤研究 (B)、「社会主義文化における戦争のメモリー・スケープ研究—旧ソ連・中国・ベトナム」(研究課題番号 25283001) 2013-16 年度、研究代表者: 越野剛 (北海道大学)
- 10 (科学研究費) 連携研究者: 基盤研究 (C)「20 世紀中国プロパガンダ芸術の多角的研究—ポスター・連環画・样板戯」2014-17 年度 (研究課題番号: 26370405)、研究代表者: 田村容子 (福井大学)
- 11 (その他助成) 研究代表者: 2013 年度早稲田大学特定課題 (一般助成)「日本近代における〈黒人〉図像—人種表象の視覚文化史」(課題番号 2013A-008)
- C : 1 (講演)「日露戦争と第一次大戦—戦場のリアリティ」明星大学人文学部日本文化学科公開講座〈戦争とメディア〉、明星大学、10.4
- D : 1 (自主研究会) 4 月より「美術・視覚文化研究会」を組織し、以下の美術館見学会を行った。
 「のぞいてびっくり江戸絵画」展 (サントリー美術館) 5.1
 「イメージの力」展 (国立新美術館) 6.1
 「東北のオカザリ」展 (多摩美術大学美術館) 7.23
- 2 (自主研究会) 星友祭において「和紙」をテーマにした展示・和本作り体験を行った。11.3-5
- 3 (学術調査) ウラジオストク、ブラゴヴェシチェンスク、黒河、ハルピン調査 (科研「乳房」の図像と記憶—中国・ロシア・日本の表象比較研究 (研究課題番号 25284065) による) 8.27-9.4

古田島洋介

- A : 1 論文:「訓読一般および柳文の訓読について」、竹田晃 [編]『柳宗元古文注釈—説・伝・騷・弔—』、新典社《新典社注釈叢書 23》、pp. 455-481、3.20.
- 2 論文:『『柳橋新誌』の返り点 (初稿) —幕末~明治初期の訓読をめぐって』、明星大学研究紀要《人文学部日本文化学科》第 22 号、pp. 1-25、3.20.
- 3 論文:「〈鬼と逢ったら返れ〉考—格言の再吟味と再把握—」、東アジア比較文化国際会議日本支部「東アジア比較文化研究」第 13 号、pp. 190-200、6.30.
- 4 論文:「漢詩文の日中比較文学研究—方法上の注意と研究上の示唆—」、張威 [主編]《日本学研究叢書》第 12 卷/李均洋・佐藤利行 [編]『中日比較文学研究』、外語教学与研究出版社、北京、pp. 217-237、8.1.
- B : 1 研究発表+司会: Japanese Literature, Section1にて研究「現代日本語における漢文訓読表現」を発表し、Translation Studies Sectionにてパネルディスカッション「翻訳の政治学」(タイ・チュラロンコーン大学: Matana Jaturasangpairroj+早稲田大学: 榊原理智)の司会を務める。International Symposium on Japanese Studies in Thailand 2014 (タイ国日本研究国際シンポジウム 2014)、タイ・バンコク市、

- チュラロンコーン大学、文学部 BRK707 号室、8.26.
- 2 体験授業：「英文に返り点？——日本人の英語学習——」、明星大学オープンキャンパス、28号館 202 教室、9.21.
 - 3 出張講義：「学術論文の基礎的作法——指導教授の校閲を仰ぐ水準に達するために——」、総合研究大学院国際日本研究専攻博士課程「日本研究基礎論」特別講義、国際日本文化研究センター第五共同研究室、10.22.
 - 4 研究発表：「柳宗元《種樹郭橐駝伝》における断句と管到——日中韓 漢学の伝統と独自性」〔日本語・中国語併用〕、2014年「第12回東アジア比較文化国際会議」国際学術シンポジウム中国大会、中国・杭州市、浙江工商大学、外語楼 124 室/分科会 C、10.25.
 - 5 研究発表：「語彙としての〈鎮魂〉・語義としての〈鎮魂〉」、国際日本文化研究センター共同研究会：牛村圭教授班「戦争と鎮魂」第一年次第二回研究会、国際日本文化研究センター第三共同研究室、11.22.
 - 6 国際日本文化研究センター共同研究員、4.1.~
 - 7 東アジア比較文化国際会議日本支部支部長（平成 24.6.9.~）
- C：1 講演：「漢文訓読に潜む危機——返り点の〈揺らぎ〉その他をめぐって——」、工学院大学孔子学院・2014年1月期講座《中国文学・文化の多彩な世界》第2回〈中国古典の読み方〉、工学院大学 4 F、1.24.
- 2 論説：「笑うに笑えぬ笑い話」、明星大学人文学部日本文化学科 HOME PAGE「ことばと文化のミニ講座」vol.82、6.18. up 掲載開始
- D：1 学術調査：大正天皇御製詩関係史跡調査：大中寺「大中寺観梅」詩碑+御用邸記念公園、沼津市、2.19-20.
- 2 引率旅行：平成 26 年度前期「比較文化研究」事前研修+現地研修旅行/学生 3 名を引率し、事前研修として横浜中華街で関帝廟・媽祖廟を参観。また①「台湾の歴史」・②「民間信仰としての道教」を主題とし、台湾・台北市の行天宮・孔子廟・龍山寺などで現地研修を実施。7.5., 8.5-8.
 - 3 学術調査：山田長政関係史跡調査：アユタヤ日本人町跡ほか、タイ・アユタヤ市、8.27.
 - 4 武術指導：学生による自主研究会「日中武道比較研究会」の顧問として、日本少林拳同盟会会長：川口賢氏を二回にわたって招聘し、少林連環拳・少林通臂拳を中心に指導。7.1., 12.2.
- 柴田雅生**
- B：1 辞典項目執筆：「東大寺諷誦文稿」「清水卯三郎」ほか、佐藤武義・前田富祺編『日本語大事典』、朝倉書店、11.6.
- D：1 3年次の日本文化演習で、学生とともに、三宝絵詞の諸本対照研究を行う。

-
- 2 学生による自主研究会「日本語研究会」の顧問として、日野校星友祭における展示（国字、新方言）の企画監修を担当、11.1-3.

田村良平（筆名：村上湛）

- A : 1 研究：「復曲能〈密天狗〉の演出について」、『明星大学研究紀要 人文学部・日本文化学科』22号, pp.199-208, 明星大学人文学部日本文化学科, 3.20.
- 2 報告：「初演500年記念奉納〈遊行柳〉演能について」、『観世』5月号, 檜書店, 5.1.
- 3 報告：「大槻能楽堂の『五老女』完演」、『おもて〜大槻能楽堂会報121号』, 公益財団法人大槻能楽堂, 6.30.
- 4 報告：「舞踊・箏曲〈鉢の木〉〜監修のことば」、『国立能楽堂』373号, 独立行政法人国立能楽堂, 10.5.
- 5 対談：「〈比丘貞〉と三老曲を語る」（山本東次郎／聞き手：村上湛）、『山本会別会パンフレット』, 5.11.
- 6 評論：「老いてなお残る強靱さ」〜第43回桃々会〈卒都婆小町 一度之次第〉（観世能楽堂, シテ：関根祥六, 3.23.）, 『日本経済新聞』夕刊, 4.1.
- 7 評論：「万三郎が隙のない芸」〜橘香会〈江口〉（国立能楽堂, シテ：梅若万三郎, 4.19.）, 『日本経済新聞』夕刊, 4.24.
- 8 評論：「個性光る兄弟の至芸」〜第8回日経能楽鑑賞会〈咲嘩〉（国立能楽堂, シテ：野村万作, 野村萬, 6.5, 6.）, 『日本経済新聞』夕刊, 6.12.
- 9 評論：「闊達な芸、嘘をまことに」〜能楽座自主公演〈抜鼓〉（国立能楽堂, シテ：茂山千五郎, 8.31.）, 『日本経済新聞』夕刊, 9.18.
- 10 評論：「厳格なる身体性〜〈比丘貞〉と〈檜垣〉〜5月の能・狂言」, 『能楽タイムズ』7月号, 能楽書林, 7.1.
- 11 評論：「梅若万三郎の達成〜鼓楽の会〈関寺小町〉」, 『能楽タイムズ』11月号, 能楽書林, 11.1.
- 12 評論：「芸能・文化ジャーナル：世阿弥生誕650年を振り返る」, 『上方芸能』194号, 上方芸能, 12.10.
- 13 評論：「演劇季評・平成25年上半期／歌舞伎座の新装開場〜平成25年上半期の歌舞伎状況」, 『歌舞伎 研究と批評』52, 雄山閣, 9.10.
- 14 聞書：「富田清邦・藝を語る〜〈明治松竹梅〉, 〈心づくし〉, 〈尻づくし〉, 〈若菜〉」, 『第28回富田清邦地歌箏曲演奏会パンフレット』, 11.16.
- 15 解説：「仕舞・復曲〈玉水〉, 連吟・復曲〈実方〉, 能〈西行桜 杖之舞〉」, 『国立能楽堂』364号, pp.20-21, 独立行政法人国立能楽堂, 1.7.
- 16 解説：「狂言〈鎌腹〉, 能〈葛城〉」, 『国立能楽堂』366号, pp.8-9, 独立行政法人国立能楽堂, 3.5.
- 17 解説：「能〈遊行柳 青柳之舞〉, 狂言〈歌争〉, 能〈鶉飼〉」, 『国立能楽堂』367号, pp.16-18, 独立行政法人国立能楽堂, 4.9.
- 18 解説：「狂言〈茶壺〉, 能〈俊寛〉」, 『国立能楽堂』368号, pp.8-9, 独立行政法人

- 国立能楽堂, 5.10.
- 19 解説:「狂言〈止動方角〉, 能〈皇帝〉」, 『国立能楽堂』369号, pp.8-9, 独立行政法人国立能楽堂, 6.4.
- 20 解説:「狂言〈因幡堂〉, 能〈芭蕉 薬草喩品〉」, 『国立能楽堂』370号, pp.14-15, 独立行政法人国立能楽堂, 7.5.
- 21 解説:「狂言〈盆山〉, 能〈雷電〉」, 『国立能楽堂』371号, pp.7-8, 独立行政法人国立能楽堂, 8.2.
- 22 解説:「新作小舞〈雪づくし〉〈雪逍遥〉, 舞踊・箏曲〈鉢の木〉, 能〈雪 雪踏之拍子〉」, 『国立能楽堂』373号, PP.16-17, 独立行政法人国立能楽堂, 10.1.
- 23 解説:「狂言〈伯母ヶ酒〉, 能〈安達原 白頭・急進之出〉」, 『国立能楽堂』374号, pp.12-13, 独立行政法人国立能楽堂, 11.6.
- 24 解説:「初演500年記念奉納〈遊行柳〉演目解説」, 『初演500年記念奉納能パンフレット』, 3.19.
- 25 解説:「狂言〈蟹山伏〉, 能〈二人静 立出之一声〉」, 『国立能楽堂』375号, pp.9-10, 独立行政法人国立能楽堂, 12.6.
- 26 解説:「第43回「桃々会」演目について〜能〈蘆刈〉, 狂言〈見物左衛門 深草祭〉, 一調〈春日龍神〉, 能〈卒都婆小町 一度之次第〉」, 『第43回桃々会パンフレット』, 3.23.
- 27 解説:「本日の演目について〜能〈通小町〉, 狂言〈船渡掣〉, 能〈紅葉狩〉」, 『第2回清能會・塩津能の會パンフレット』, 10.4.
- 28 解説:「山本東次郎の芸と芸統」, 『〈至高の芸、そして継承者〜狂言〉パンフレット』, 10.28.
- 29 解説:「狂言〈木六駄〉」, 『〈至高の芸、そして継承者〜狂言〉パンフレット』, 10.28.
- 30 解説:「ミュージカル〈ミス・サイゴン〉鑑賞の手引き」, 日本文化学科1年生学外講座用冊子, 8.3.
- 31 随筆:「字幕の功罪〜国立劇場『舞の会』を見て」, 『能・スケジュール』1・2月号, 観世能楽堂, 1.1.
- 32 随筆:「『拍手』の是非」, 『能・スケジュール』3・4月号, 観世能楽堂, 3.1.
- 33 随筆:「現実と劇作」, 『能・スケジュール』5・6月号, 観世能楽堂, 5.1.
- 34 随筆:「習うより慣れる」, 『能・スケジュール』7・8月号, 観世能楽堂, 7.1.
- 35 随筆:「藝術家の肩書」, 『能・スケジュール』9・10月号, 観世能楽堂, 9.1.
- 36 随筆:「夢想の能楽堂」, 『能・スケジュール』11・12月号, 観世能楽堂, 11.1.
- 37 随筆:「藝能百花撰・第32回〜若菜摘む生田の小野の朝風」, 『孤峰』平成26年1月号, 江戸千家茶道会, 1.10.
- 38 随筆:「藝能百花撰・第33回〜寒紅梅の色添へて」, 『孤峰』平成26年2月号, 江戸千家茶道会, 2.10.
- 39 随筆:「藝能百花撰・第34回〜恵みも深き二月堂」, 『孤峰』平成26年3月号, 江戸千家茶道会, 3.10.

-
- 40 随筆：「藝能百花撰・第35回～馴れし東の江戸櫻」、『孤峰』平成26年4月号，江戸千家茶道会，4.10.
- 41 随筆：「藝能百花撰・第36回～テッセンとカザグルマ」、『孤峰』平成26年5月号，江戸千家茶道会，5.10.
- 42 随筆：「藝能百花撰・第37回～花菖蒲と江戸歌舞伎」、『孤峰』平成26年6月号，江戸千家茶道会，6.10.
- 43 随筆：「藝能百花撰・第38回～花柘榴また黒揚羽放ち居し」、『孤峰』平成26年7月号，江戸千家茶道会，7.10.
- 44 随筆：「藝能百花撰・第39回～のうぜんの花を数へて幾日影」、『孤峰』平成26年8月号，江戸千家茶道会，8.10.
- 45 随筆：「藝能百花撰・第40回～酒呑童子と桔梗」、『孤峰』平成26年9月号，江戸千家茶道会，9.10.
- 46 随筆：「藝能百花撰・第41回～檀特山の憂き別れ」、『孤峰』平成26年10月号，江戸千家茶道会，10.10.
- 47 随筆：「藝能百花撰・第42回～西王母の桃と椿」、『孤峰』平成25年11月号，江戸千家茶道会，11.10.
- 48 随筆：「藝能百花撰・第43回～歌舞伎芝居の笹と竹」、『孤峰』平成26年12月号，江戸千家茶道会，12.10.
- 49 随筆：「能〈道成寺〉の独自性」、『Bunkamura 25周年記念・特別公演〈道成寺〉パンフレット』（主催：セルリアンタワー能楽堂，シテ：友枝雄人），6.21.
- 50 随筆：「古典藝能の再生～能〈墨染櫻〉完全版の復興をめぐる」、『明星大学人文学部日本文化学科ウェブサイト「ことばと文化のミニ講座」』，11.1.
- 51 個人ウェブサイト「村上湛・古典演劇評論」において評論・研究・随想を通年に互り随時公開。

- C：1 平成26年度（第65回）芸術選奨選考審査員（演劇部門，文部科学省委嘱）
- 2 芸術文化振興基金運営委員会 伝統芸能・大衆芸能専門委員会専門委員（平成26年6月30日まで，独立行政法人日本芸術文化振興会委嘱）
- 3 一般財団法人観世文庫評議員
- 4 「能〈遊行柳〉初演500年記念奉納上演」の制作助言をつとめる。（能〈遊行柳 青柳之舞・朽木留〉シテ：観世清河寿），京都・金戒光明寺御影堂内陣舞台，3.19.
- 5 能〈戀重荷〉（シテ：梅若玄祥）および能〈千手 重衣之舞〉（千手：観世清河寿，重衡：大槻文藏）の演出・監修をつとめる。第9回「萬歳樂座」，国立能楽堂，4.10.
- 6 新版〈天守物語〉（天守夫人富姫：大空祐飛）の脚本補綴・演技助言をつとめる。大阪フェスティバルホール，4.23. Bunkamura オーチャードホール，4.26，27.
- 7 能〈千手 重衣之舞〉（千手：観世清河寿，重衡：宝生和英）の演出・監修をつとめる。観世会企画公演，観世能楽堂，10.4.
- 8 古典の日記念・国立能楽堂企画公演における新作舞踊〈鉢の木〉（佐野源左衛門尉

- 常世：花柳寿楽，最明寺入道時頼：西川箕乃助，箏曲：山勢松韻ほか）の演出・監修をつとめる。国立能楽堂，10.31.
- 9 明星大学人文学部日本文化学科公開講座『『源氏物語』の世界／戦争とメディア』（全8講座）の企画・立案をつとめる。明星大学日野校，9.20，27，10.4，11.
- 10 「第28回富田清邦地歌箏曲演奏会」の制作助言をつとめる。紀尾井小ホール，11.16.
- 11 講演：NPO法人「和塾」主催講座「世阿弥」，国際文化会館，1.14.
- 12 講演：「心の花の矜持」，大槻能楽堂改築30周年記念公演（能〈卒都婆小町〉シテ：友枝昭世），大槻能楽堂，1.25.
- 13 講演：「救いのない贖罪を描く元雅の『修羅』」，大槻能楽堂自主公演能・世阿弥生誕記念特別公演（能〈重衡〉シテ：観世清河寿），大槻能楽堂，9.27.
- 14 講演：「能〈忠度〉，〈鐵輪〉について」，セルリアンタワー能楽堂定期能11月公演～観世流～，セルリアンタワー能楽堂，11.15.
- 15 講演：「梅若六郎玄祥・人間国宝認定記念祝祭能（能〈安宅 延年之舞〉シテ：梅若玄祥）～記念対談」（梅若玄祥氏と対談），大阪能楽会館，10.6.
- 16 テレビ副音声解説：HHK・Eテレ「古典芸能への招待『人間国宝の狂言』」（狂言〈木六駄〉シテ：山本東次郎），公演録画10.24，音声収録11.21，放送11.30.
- 17 講座：明星大学人文学部日本文化学科公開講座『『源氏物語』の世界～〈帚木〉講読』，明星大学人文学部，9.20.
- 18 講座：朝日カルチャーセンター新宿教室1月期講座「能をどう見るか・能〈隅田川〉の発見」，朝日カルチャーセンター新宿教室，1.16，2.20，3.6.
- 19 講座：朝日カルチャーセンター新宿教室4月期講座「能をどう見るか・能〈江口〉のダイナミズム」，朝日カルチャーセンター新宿教室，4.17，5.15，6.19.
- 20 講座：朝日カルチャーセンター新宿教室7月期講座「能をどう見るか・能〈采女〉の哀傷と祝言」，朝日カルチャーセンター新宿教室，7.17，8.28，9.25.
- 21 講座：朝日カルチャーセンター新宿教室10月期講座「能をどう見るか・能〈雲林院〉のロマンティシズム」，朝日カルチャーセンター新宿教室，10.30，11.20，12.4.
- 22 講座：池袋コミュニティカレッジ1月期講座『『風姿花伝』精読～世阿弥の実践美学研究』，池袋コミュニティカレッジ，1.27，2.24，3.10，3.24.
- 23 講座：池袋コミュニティカレッジ4月期～10月期講座『『申楽談儀』精読』，池袋コミュニティカレッジ，4.28，5.26，6.9，23，7.28，8.11，9.8，22，10.27，11.10，12.15，22.
- 24 講座：池袋コミュニティカレッジ1月期～10月期講座「茶の湯けいこはじめ～表千家・一から学ぶ平点前」，池袋コミュニティカレッジ，1.18，2.15，3.15，29，4.19，5.17，31，6.21，7.19，8.16，30，9.20，10.18，11.15，29，12.20.

D：1 平成26年度（前期）学科科目「伝統芸能の歴史」にて学生を能楽鑑賞（国立能楽堂企画公演・能〈采女 美奈保之伝〉シテ：梅若万三郎，6.20.）その他に誘導す

- る。
- 2 日本文化学科1年生学外講座として東宝ミュージカル〈ミス・サイゴン〉鑑賞会を企画、学科教員とともに引率する（帝国劇場，8.3）。
 - 3 日本文化学科学生研究会「源氏物語研究会」の研究指導を通年に互ってつとめる。

服部 裕

- A：1 「個人主義の意味（3）：民主主義を支える自立した個人」、明星大学研究紀要、人文学部・日本文化学科 第22号、400-382頁、2014年3月
- C：1 「戦争とメディア：昭和の戦争と第2次世界大戦、日本とドイツ」、明星大学人文学部日本文化学科公開講座、10.11.
- D：1 学科学生との自主研究会である「映画研究会」を8回開催し、映画鑑賞会と討論会を行った。なお、今年度は主に小津安二郎や山田洋次などの日本映画を鑑賞し、日本社会の現在について考察した。
- 2 星友祭で映画研究会の上映会を開催し、上映会後学生と来場者と一緒に討論会を行った。上映作品は山田洋次監督の『小さいうち』（2014年公開）で、本映画が描写する平凡な日常生活を通して、昭和の戦争の時代と社会がいかなるものであったかについてリアルに把握する機会を得た。その結果、戦争を許す社会が必ずしも暗く抑圧的な雰囲気の中にあるのではなく、現在と同様、表面的に平和な日常生活の中に知らぬ間に構築されて行くものであるということを理解した。11.3.

前田雅之

- A：1 単行本
- ①「古典論考—日本という視座」 新典社 平成26年5月 430頁
 - 2 編著
 - ②「南北朝から江戸初期における書物の移動に関する基礎的研究」 科研報告書（基盤C） 平成26年3月 138頁
 - 3 論文
 - ①「明星本『正広自歌合』の本文と校異（1）」『明星大学研究紀要【人文学部・日本文化学科】』22号 平成26年3月 27-197頁
 - 4 書評
 - ①書評『紅野謙介『物語 岩波書店百年史1「教養」の誕生』』『語文』（日本大学国文学会）150号 平成26年12月 89-90頁
- B：1 雑誌『日本文学』（日本文学協会編、査読誌）の編集長（11月まで）
- 2 学会の運営活動
 - ①「日本文学協会」運営委員・委員（11月まで）
 - ②「説話文学会」委員

③「仏教文学会」委員

④「中世文学会」委員

C : 1 明星大学人文学部日本文化学科公開講座講師 (9月27日、『源氏物語の世界』「空蟬」)

2 科研の研究会

①日時 5月25日 11時～18時

場所 明星大学前田研究室 (27号館903号室)

内容

- 1 科研の目標とりわけデータベースの範囲と素材 (日記・記録だけか、奥書もとるか) の検討、さらに各人の担当領域の再検討。
- 2 データベースチェック体制の検討および構築作業の日程 (前田・渡瀬)。
- 3 今年の調査対象と日程 (前田)。
- 4 研究会の日程と内容 (前田)。
- 5 研究発表
松本大氏 『三源一覧』 から見る室町中期源氏学の一様相
- 6 その他

②日時 8月17日 午後6時から8時

場所 JR九州熊本ホテル談話室

内容

- 1 前田雅之 今後の調査のありよう・目的・方法について
- 2 大坪 舞 調査報告 (松江藩主松平家蔵書)
- 3 研究発表
池田佳樹 「頓阿の方法—自撰家集『頓阿法師詠』にみる詠歌法—」
松本 大 「室町期源氏学における典拠指摘の再検討」

③日時 11月1日

場所 明星大学前田研究室 (27号館903教室) 午後2時から7時

内容

- 1 データベース構築作業 (渡瀬氏) と研究目的・狙い (前田)
- 2 研究発表
松本麻子氏 『『近代百人一首』考—近世初期大名の和歌文芸について—』
- 3 実隆公記をめぐるミニ研究会 (第一回)

3 科研のデータベース構築作業

①日時 3月4日～10日

場所 明星大学27号館903教室 (前田研究室)

内容

科研メンバー各自が作成した『実隆公記』における書物の移動リストのチェック
作業者 渡瀬淳子氏・前田

②日時 8月25日～27日

場所 明星大学 27 号館 903 教室（前田研究室）

内容

科研メンバー各自が作成した『実隆公記』における書物の移動リストのチェック

作業者 渡瀬淳子・大坪舞氏・前田

③日時 12 月 26 日～30 日

場所 明星大学 27 号館 903 教室（前田研究室）

内容

科研メンバー各自が作成した『実隆公記』における書物の移動リストのチェック

作業者 渡瀬淳子・大坪舞氏・前田

4 幕末明治研究会の開催（上原麻有子京都大学文学部教授・青山英正准教授・神林尚子非常勤講師と共催）

①第八回幕末明治研究会

日時 2014 年 6 月 21 日 午後 2 時から

場所 京都大学文学部研究室

発表

ラルフミュラー氏「鎌倉仏教の伝承は翻訳論の問題であるか。哲学的観点からの一考察」

斎藤英喜氏（仏教大学）「折口信夫の「明治」」

②第九回幕末明治研究会

日時 2014 年 12 月 20 日 午後 2 時から

場所 明星大学 27 号館 10 階 1001 教室

発表

山本嘉孝氏（東京大学大学院）

「中村蘭林の修正朱子学と作文論 — 近世中期におけるもう一つの〈古文辞〉」

向後恵里子氏（明星大学）

「英雄の古層 - 日露戦争における武士と兵士のイメージ」

5 論説

①「保田與重郎と近代・日本・古典 17 古典論の展開②—『戴冠詩人の御一人者』(2)」

『表現者』52 号 平成 26 年 1 月 138-141 頁

②「保田與重郎と近代・日本・古典 18 古典論の展開③ 『日本の橋』(1)」

『表現者』53 号 平成 26 年 3 月 132-137 頁

③「保田與重郎と近代・日本・古典⑱ 古典論の展開④ 『日本の橋』(2)」

『表現者』54 号 平成 26 年 5 月 134-139 頁

④「保田與重郎と近代・日本・古典 20 古典論の展開⑤ 「木曾冠者」(1)」

『表現者』55 号 平成 26 年 7 月 150-155 頁

⑤「保田與重郎と近代・古典・日本 21 古典論の展開⑥ 「木曾冠者」(2)」

『表現者』56 号 平成 26 年 9 月 160-165 頁

⑥「二十年後の日文協一大会に向けて—」

『日本文学』736号 平成26年10月 93-94頁

⑦「保田與重郎と近代・日本・古典(22) 古典論の展開⑦ 「木曾冠者」(3)」

『表現者』57号 平成26年11月 136-141頁

D: 1 文献調査

①科研(基盤(B)、室町～江戸初期における書物移動と大名文庫の蔵書形成に関する総合的研究 研究課題番号:26284041)による文献調査。

日時 8月17日～21日

調査地 熊本大学付属図書館(永青文庫)、島原市立図書館(松平文庫)

2 ゼミ等の教育活動

二年次配当の日本文化基礎演習では、前期は『宇治拾遺物語』、後期は『百人一首切臨抄』を扱ったが、30人あまりの受講者を八班に分け、それぞれ前期三回、後期三回の発表をさせた(内容は、読み上げ・現代語訳・調査、現代語訳はすべて文章化させる。なお、『切臨抄』には既存の現代語訳は存在しない)。次第に古典の文章が読めるようになっていく学生も現れ、古典読解力をつけるのにはこの方法しかないと感じた。今後も継続する予定。三年次配当の日本文化演習では、昨年同様、『古今集』を選び、古注(『両度聞書』・『古聞』・『顕注密勘』・『栄雅抄』など)の読み上げ・現代語訳、現代注(『新大系』・『新全集本』・『古典集成』・『角川文庫])の検討、類歌・影響歌の調査と現代語訳を一人ずつ担当させ、毎回、三首発表とした。一年間で一人六回程度発表することになったと思う。こちらも学生にとってはかなりの負担量であるが、和歌の読解力・古注の理解力で著しい伸びを示した学生も二三割出てきたので、来年も継続する予定である。最後に、四年次配当の卒業研究は、前期はテーマ設定・目次案・参考文献・狙いなどを発表させ、後期は個別指導となった。今年は、例年になく四人の優秀論文が出てきたことは喜ばしい限りである。11月頃になると、学生の顔が俄然締まってくる。これが「卒論効果」であり、卒論ほど教育効果のあるものはないと改めて確信した次第である。

山本陽子

A: 1 (論文)「聖なるものの誕生—見えない神々はどのように表され、隠されたか」岩波講座『日本の思想』第8巻「聖なるものへ」岩波書店 pp.31-60 1.28

2 (論文)「二松本『保元物語』『平治物語』挿絵の天皇表現について—庶民の描かれた「御即位図」との関連—」『源平の時代を視る 二松学舎大学付属図書館所蔵奈良絵本『保元物語』『平治物語』を中心に』思文閣出版 pp.52-74 2.25

3 (論文)「異本伊勢物語絵巻の絵画表現を考える—「女絵」でない伊勢物語絵へ—」『明星大学研究紀要』[人文学部・日本文化学科]第22号 pp.327-340 3.20

4 (論文)「武者絵における仏教天部像の影響—歌川国芳の作品を中心として—」『民族芸術』30号 pp.103-110 3.31

5 (論文)「説話と絵画に見る屋根・軒・天井における怪異」『説話・伝承学』第22号 pp.139-153 3.31

-
- 6 (研究ノート)「三山小考—三山もしくは三峯という構成に根拠について—」『日本宗教文化史研究』35号 pp.89-101 6.20
- B : 1 (学会発表)「宮曼荼羅から参詣曼荼羅へ—参詣人の出現について—」於日本宗教文化史学会第18回大会 京都府立大学 6.28
- 2 (編集委員)『日本宗教文化史研究』36号
- 3 (企画参与)国際交流基金 海外巡回展「Manga, Hokusai, Hokusai Manga: Probing the Master's Legacy in Graphic Narratives from Contemporary Japan [マンガ・北斎・北斎漫画: 現代日本マンガにおける絵師の遺産を探って]
- C : 1 (公開講座)「仏像を見分けて知ろう(再)—それぞれの仏像の姿からその性格と由来を知ろう—」於平成26年度八王子学園都市大学(いちょう塾)於学園都市センター 6.14

